

卒業おめでとうございます



今年度は小学部・中学部・高等部合わせて9名が卒業しました。卒業生に向けて、担任よりお祝いの言葉です。

小学部卒業、そして中学部進学おめでとうございます。この1年間、様々な学習を通して上手に体を動かせるようになったこと、優しい声で歌えるようになったことなど、できることが増え、心も体も大きく成長しましたね。共に学び、一番近くで見守ることができたことはとても嬉しく、幸せなことでした。たくさんの笑顔と楽しい時間をどうもありがとう！4月からは中学生です。小学部6年間で身につけてきた力を存分に発揮し、中学部でも笑顔いっぱい、充実した学校生活を送ってほしいと思います。今後の更なる成長を楽しみにしています。(赤石沢)



ご卒業おめでとうございます。日々の学習だけでなく、児童生徒会活動や行事等、様々なことに一生懸命取り組んできましたね。また、今年度は自分自身ともたくさん向き合ってきました。できるようになったこと、自信を持って取り組めるようになったことの裏には、これまでのたくさんの努力があったことを感じています。高等部へ行っても活躍する姿を楽しみにしています。(富永)

御卒業おめでとうございます。中学部では体育祭や学校祭などの行事や学習活動に取り組んできましたね。何事にも熱心に取り組んでいる表情が印象に残っており、それぞれの成長が大きく感じられた中学部生活でした。4月からは自分らしさを発揮しながら、高等部の一員としての生活を楽しんでもらいたいと思います。(柳澤)



卒業おめでとうございます。この3年間で自分を表現することが上手になりましたね。特に得意な絵の活動では、自分の納得いくまで最後まであきらめない姿は本当に立派でした。何事にも一生懸命で真っ直ぐな性格はこれからの社会の場でも必ず生きてくることでしょう。これから社会の一員となりますが、多くの人を笑顔にできるように自分の力を発揮して欲しいと思います。今までありがとうございました。(山下)

ご卒業おめでとうございます。この3年間でとても積極的になりましたね。皆の前でスピーチしたり歌を歌ったり、人前に出ることに物おじせずに挑戦する力がつきました。これまでの学校生活で学んだことや楽しい思い出を胸に、活動の場を移しても、自信を持っていろいろなことに挑戦してってください。(橋本)



高等部3年間で本当にたくさんの学習にチャレンジしてきましたね。様々な経験を増やし、「楽しい」という気持ちや「これは苦手」という気持ちをまるでお話するように表情で表すことができるようになりました。これからも病棟の方々や家族とたくさん表情でお話をしながら元気に過ごして行って下さい。ご卒業おめでとうございます。(荒井)



さ ら ん べ

砂 蘭 音 部

北海道八雲養護学校

平成26年度 学校だより 第7号

平成27年3月24日(火)発行

北海道八雲養護学校は、独立行政法人国立病院機構八雲病院に隣接した、病弱者を主に教育する特別支援学校です。

卒業・修了に寄せて

校長 小林 守

3月中旬には、間近に迫った春を拒むように雪が降りましたが、暖かさを増した日差しに雪解けも進み、道ばたにはふきのとうも芽吹き始めるなど、子どもたちの成長と同じように一歩ずつ確実に春に向かっていくことを感じます。

先日行った卒業式では、小学部1名、中学部5名、高等部3名の生徒が全員出席して無事に卒業証書を手にし、本日は小学部4名、高等部8名の児童生徒がこの一年の学習を予定どおり修了することができました。

お子さんの卒業・修了を迎えられた保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、これまで陰になり日向になって本校の教育活動を御支援くださった関係の皆様から感謝申し上げます。

本校での学校生活を終えた3名の高等部卒業生は、在籍期間は異なりますが、親元を離れての療養生活という辛さや、手足の不自由さをはじめとした多くの困難に負けずに頑張り、無事に卒業を迎えることができました。そんな子どもたちの真摯に学習に取り組む姿からは私たちも多くのことを学ばれます。

今年度の卒業生は全員、病棟での継続療養となりますが、様々な学習で身に付けた力やそれぞれの持っている可能性を十分に生かし、希望を持って心豊かに主体的な病棟生活を送ってほしいと願っています。

終わりにになりましたが、改めて卒業された皆さんとその保護者の皆様にお祝いを申し上げますとともに、保護者の皆様や関係の皆様には来年度も変わらぬ御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

卒業証書授与式を行いました

3月16日(月)に、小学部第41回、中学部第45回、高等部第36回卒業証書授与式を行いました。

学校長より卒業生一人一人に卒業証書の授与と式辞の後、来賓の方々より温かいご祝辞をいただきました。続いて在校生と卒業生よりそれぞれ贈る言葉があり、在校生からは卒業生へのお祝いと感謝を、卒業生からはお世話になった方々への感謝とこれからの決意が述べられました。



最後に「旅立ちの日に」を合唱し、小学部1名、中学部4名、高等部3名の卒業生を送り出すことができました。また、本校後援会より卒業証書ホルダーが、かたばみ友の会より花束が卒業生へ贈られました。(愛澤)



卒業生の進路

	本校中学部へ進学	本校高等部へ進学	八雲病院で継続療養	計
小学部	1名			1名
中学部		5名		5名
高等部			3名	3名

北海道八雲養護学校 〒049-3116 二海郡八雲町宮園町128 電話：0137-62-3670 FAX：0137-62-3427
学校ウェブページ：http://www.yakumoyougo.hokkaido-c.ed.jp 学校代表メール：yakumoyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp

お世話になりました ～本校から転出する教職員より～

今年度、本校からは１５名の職員が転出することになりました。保護者や八雲病院の関係者ならびに地域の皆様には大変お世話になりました。なお、ジャカルタの日本人学校で勤務されている中村彩子教諭も、４月より千歳高等支援学校へ転出となりますので、本紙面にて報告させていただきます。

野島 浩 事務長（函館西高等学校へ）

勤務経験の中で、特別支援学校は本校がはじめてとなり、いろいろ学んだことが沢山ありました。卒業後、すぐ卒業生が亡くなった辛い思い出もありましたが、子どもたちの頑張っている姿を見て日々励まされました。転動後も、この気持ちを忘れず頑張っていきたいと思います。４年間ありがとうございました。



愛澤 文祥 教諭（真駒内養護学校へ）

八雲へ来て６年が経ちました。あっという間だった思う反面、振り返ると数多くの思い出ができました。特に、ここ３～４年は、特別支援教育コーディネーターとして、地域の小・中・高校や幼稚園、保育園、その他の関係機関の方々と一緒に仕事をさせていただき、大変貴重な経験を重ねることができました。この場を借りてお礼申し上げます。また、自然豊かな八雲で、親子ともどもアウトドアライフを満喫できたのも大きな収穫でした。公私に渡り八雲で得ることのできた貴重な体験を、今後とも活かしていきたいと思います。今まで、本当にありがとうございました。



荒井 美聡 教諭（平取養護学校へ）

初任で赴任してから６年間勤務いたしました。初めての病弱養護学校、初めての学級担任、たくさんの初めての中でこんなにも楽しい思い出ができたのは周りの方々のご指導、ご協力、そして何よりも子ども達のおかげと感じています。６年間の中で子ども達にはたくさんの思い出と感動をもらいました。かけがえのない大事な宝物です。６年間本当にどうもありがとうございました。



逢坂 卓志 教諭（函館養護学校へ）

水の美味しい八雲に来て７年が過ぎました。お魚釣り、山登り、マラソン、クロスカントリースキー、……。自然いっぱい温泉も多くあり、いっぱい楽しませてもらいました。学校では、高等部、中学部、小学部と順番に所属させてもらい、多様で貴重な経験を積ませてもらいました。みなさんお世話になり有難うございました。



小原 美鈴 教諭（拓北養護学校へ）

明るく素直な子ども達、体育祭や学校祭では小学部・中学部・高等部の児童生徒が、互いに励ましあい、声をかけ合って声援を送る姿に「仲間を大切に思う気持ち」を感じました。優しい心と何事にも頑張りチャレンジするみなさんにはたくさんのことを学ばせて頂きました。さらなる成長を楽しみにしています。また、保護者の皆様にはこれまで温かいご支援やご協力を頂き感謝しております。７年間、本当にありがとうございました。



桑原 竜也 教諭(ご退職)

１年間という短い期間でしたが、ありがとうございました。初めは不安な事も多く、沢山の皆様にご迷惑をおかけしましたが、児童生徒の笑顔に支えられ、とても素敵な１年を過ごすことができました。これまで沢山の御指導・御支援をいただき、本当にありがとうございました。



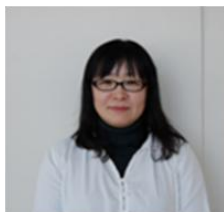
高橋 枝里子 教諭（伊達高等養護学校へ）

この学校に赴任した重みや緊張感が昨日のこのように思い出されます。７年間の勤務の間、生徒達と共に病気に向き合い、進路について悩み、一歩ずつ歩いてきたことが今の私の糧になっています。この学校の在校生、卒業した皆さんが、夢をもち叶えていけることを心から応援しています。大変お世話になりました。



千田 晶子 教諭（函館聾学校へ）

八雲養護学校に赴任してから６年が経ちました。その間、中学部だけでなく小学部や高等部の人たちともたくさんふれあうことができました。学校祭や体育祭、中学部の見学旅行など、楽しく貴重な経験もたくさんさせていただきました。私は、今日まで皆さんの頑張る姿や笑顔に支えられてやってこれたように思います。この学校を離れるのはとても寂しいですが、これからも夢や希望がいっぱいの八雲養護学校のことをずっと応援しています！ありがとうございました。



堀濱 孝文 教諭（北海道教育大学附属特別支援学校へ）

八雲養護学校に来て４年。振り返るとあっという間の４年間でした。担任や児童生徒会を担当し、子どもたちと関わる中で、たくさんのことを学ぶことができました。ここで学んだことを活かしながら、次の学校でも頑張っていきたいと思います。今までありがとうございました。



町中 翼公 教諭（室蘭聾学校へ（新採用））

この一年間、八雲養護学校の子供達と学習をしたり、休み時間に一緒に遊んだりすることができて楽しく密度の濃い一年となりました。私自身子供達から学ぶことがたくさんあり、この経験を生かして次の学校でも頑張っていきたいと思います。一年間本当にありがとうございました。



山下 透 教諭（中札内高等養護学校幕別分校へ）

八雲養護学校での勤務経験は私にとってかけがえのない宝物となりました。生徒達の夢に向かって努力を続ける姿や、一生懸命に学習に取り組む姿から、学ぶことの大切さや生きることの素晴らしさを教えてもらいました。この経験を糧に新たな地でも精進し、いつかまた恩返しができると思っています。また、保護者の皆様や病院関係者の皆様、地域の方々から多くの事を学ばせて頂きました。皆様本当にありがとうございました。



吉田 史人 教諭（星置養護学校ほしみ高等学園へ）

八雲養護学校に初任者として着任して、６年が過ぎました。６年間で、副担任１年、担任４年、教務主任１年とバラエティーに富んだ業務に就いてきましたが、いつも周囲の方々に支えられて、ここまで勤務することができました。新たな勤務地でも自分らしく頑張っていきたいと思っています。八雲養護学校の関係者のみなさん、６年間ありがとうございました。



巨尾 幸康 実習助手（函館養護学校へ）

この八雲の地で勤務した６年間は、児童生徒・職員に恵まれたのはもちろんのこと、教材教具の製作や授業を通して様々なことを教えられたことも多く、楽しく実りある時間を過ごすことができました。そして、たくさんの良い思い出を作ることができ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



猪股 茂 主任主事（檜山北高等学校へ）

八雲養護学校に赴任して５年、はじめは戸惑いと不安の毎日でしたが、児童生徒の明るさ、頑張る姿が支えとなり今までこれたように思います。この学校での経験を生かし、次の学校でも頑張っていきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。

